

平成30年度

事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

公益財団法人光市文化振興財団

光市文化センター事業計画

光市文化センターは、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動の普及発展に尽力してきた。平成30年度も教育や文化の充実発展に寄与するとともに、「文化の創造は市民自らの手で」の趣旨のもと、引き続き地域文化の継承発展に地道な努力を続けていく。

文化活動の拠点として、造形活動の推進、歴史・民俗資料の調査・保存・啓発、自然科学分野の啓蒙等を行うとともに、下記の事業を実施し、地域に根ざした運営を目指す。

企画展では、第12回目となる「光市作家展」を実施し、市内の作家の紹介に努める。

さらに、明治維新150年の記念企画として「清水家・難波家史料にみる明治維新」（仮称）を開催し、関連資料を市民に広く紹介する。

第14回目となる「光市美術展」では、広報活動を強化し、より多くの作品の募集に努める。また、市民参加の「わが家所蔵の美術品展」も引き続き実施する。

教育普及活動では、「成人大学講座」は、明治維新150年記念として、山口県に関わりのある人物、歴史、政治に関連した講座内容とした。また、夏休みに小学校4～6年生の児童を対象に「夏休み子ども陶芸教室」を開催する。

事業の成果をあげるため、企画展、貸館展覧会はもとより、所蔵する美術資料を公開する常設展などの広報活動を工夫し、情報発信に努める。

1 常設展示

(1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定し展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

(2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、学校教育のカリキュラムに即した展示となるよう、民俗資料の選定、更新を行う。

2 企画展示

(1) 第37回濤美展 会期 4月6日（金）～4月15日（日）

毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表する。

- (2) 光市作家展 会期 6月9日(土)～6月24日(日)
- 作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらう。作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動の喜びを広めることになる。
- 今回は、市美展の委嘱作家である日本画の「高村光子」氏と、同じく委嘱作家である陶芸の「石田帝児」氏を紹介する。
- (3) 清水家・難波家資料に見る明治維新(仮称) 会期 7月22日(日)～8月19日(日)
- 山口県も推進する、明治維新150年の記念企画として、文化センターが所蔵する「清水家・難波家資料」を中心とした幕末・明治維新期の資料を公開し、市民に広く紹介することにより、市民の郷土に対する興味関心を喚起し、歴史文化遺産の存在について広くアピールする。
- (4) 第14回光市美術展 会期 10月23日(火)～11月4日(日)
- 市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。
- 平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作の買上げを実施し、その作品を文化センターに納めてもらう。
- (5) 文化センター水彩画教室展 会期 12月
- 隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。
- (6) わが家所蔵の美術品展 会期 3月
- 家庭にある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらうことにより、作品を大切に作る心を養い後世まで伝える。絵画・彫刻・陶磁器・金工品・木工品・書・骨董品など幅広い作品を鑑賞してもらう機会を設ける。

3 教育普及活動

- (1) 明治維新150年記念 成人大学講座
- 平成30年度は、明治維新150年記念として山口県に関わりのある人物、歴史、政治に関する内容を取り上げた講座を開催する。年間7講座。
- 経費については光市教育委員会が負担する。(聴講者は45人募集)

内 容	講 師	開 催 日
日本の近代産業を主導した 山口県ゆかりの起業家たち	松陰神社宝物殿至誠館 館長 樋口 尚樹	5月12日(土)
明治、大正、昭和初期にお ける日本緑茶の対米輸出	ノースカロライナ州 ウェイクフォレスト大学 准教授 ロバート・ヘリヤー	6月9日(土)
洋学者手塚律蔵が歩んだ道	福岡教育大学 教授 小川 亜弥子	7月7日(土)
奇兵隊を支えた白石正一郎	下関市立中央図書館 館長 安富 静夫	8月4日(土)
幕末期の長州藩とイギリス	大島商船高等専門学校 准教授 田口 由香	9月1日(土)
寺内正毅とシベリア出兵	文筆家 堀 雅昭	11月17日(土)
記録にみる江戸時代の光	山口文書館 副館長 金谷 匡人	12月1日(土)

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 河村純一郎先生(洋画家、行動美術協会会員、周南市在住)

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 岡村 毅先生(創美会会員)

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 末廣修實先生（彫塑作家）

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び、現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講師 村山嘉憲先生

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、各自発達段階に見合った焼き物作りを体験させる。このことで、造形への興味・関心を高め、併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講師 湯呑みづくりの会

開催日 7月21日（土）、8月4日（土）

(7) 小学生の社会科見学や中学生の職場体験への対応

各学校の教育活動に即応した資料収集および展示を行い、社会科見学のプログラムを充実させ、学校教育の現場との連携を図っていく。

(8) 文化財、資料館めぐり（スタンプラリー）事業（仮称）の検討

子供たちに文化財、史跡、資料館（伊藤公、郷土館、文化センター）などに興味をもたせるとともに、郷土学習のひとつとしてスタンプラリー形式の歴史文化を巡る事業を実現するため、昨年度に引き続き検討、研究する。

4 絵画貸出事業

財団の情報誌『虹』や当館のホームページ、市広報等により、広報活動を積極的に行い利用者の拡大を図る。

5 資料収集活動

(1) 館蔵資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を収集し、館蔵美術品の充実を図る。

(2) 歴史・民俗資料の収集

6 資料の整理

(1) 長年に渡る資料収集活動からくる慢性的な保管場所の不足や、新たに収集する資料の収蔵場所を確保するため、今後の資料保存のあり方を検討する。

(2) 平成28年度から進めている清水家文書、難波家文書の解読作業を、郷土史家の協力を得て継続する。

7 市民の文化活動等への協力

(1) 文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。

(2) 学校現場等へ館蔵資料を提供する。

光市民ホール事業計画

光市民ホールは、開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

昨今の社会環境の変化により、市民ニーズは大きく変容しているが、開館から47年目となる公立文化施設としての市民ホールは、市民の自主的な芸術文化活動の拠点として、今後とも引き続き果たすべき役割は、大きいものがあると考えます。

このような状況から、光市民ホールの自主文化事業を担う「光の文化を高める会」（以下「文高会」という。）を基軸にして、多様化・高度化が進む市民のニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向け、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため下記の事業を実施する。

1 公演事業

(1) 光市と財団の経費で実施する事業

第47回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師に招く。

講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞き、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座、テーマ性のある生涯学習講座として開催する。

会 場 大ホール

テーマ 「人生の楽しみ方」

○第1講座 天 達 武 史（気象予報士）

日時 7月6日（金）

演題 「天気の人、天達と考える 気候変動と地球の未来」

○第2講座 土 井 善 晴（料理研究家）

日時 7月17日（火）

演題 「家庭料理の楽しみ方」

○第3講座 浅田 舞 (スポーツキャスター)

日時 7月24日 (火)

演題 「夢」～自分らしく生きるために～

(2) 財団と「文高会」双方の経費で実施する事業

ア 第3回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月8日 (日)

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっている。そこで、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。第1回目、2回目とも大いに盛り上がり、3回目となる本年度も参加チームがさらに増える見込みである。

ストリートダンスの普及・啓発とともに、青少年の音楽や表現活動の推進、舞台芸術活動の振興を図る。

イ 「末延麻裕子ヴァイオリンコンサート」

日時 4月22日 (日)

会場 大ホール

内容 光市出身のヴァイオリニスト末延麻裕子のコンサートを開催する。

ふるさとへの想いを胸に演奏する、心ときめく、待望の光市での初コンサートとなる。また、出身小学校である山口大学教育学部附属光小学校の合奏班との共演も予定している。

ウ スタインウェイピアノ開放事業

「ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ！」

日時 5月19日 (土)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、音楽を愛しピアノに関心のある人が、世界で最も有名なピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

エ 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月27日(日)

会場 大ホール

内容 今年度で3回目となるが、吹奏楽ファンの熱烈なリクエストに応え、高校吹奏楽部の国内最高峰ともいわれる、精華女子高等学校吹奏楽部(福岡市)を招聘して、ハイレベルの吹奏楽コンサートを開催する。

なお、市内3高校の吹奏楽部との合同演奏も行い、地元高校生の演奏能力の向上、舞台パフォーマンスのレベルアップなどの一助とする。

オ 小学校音楽・演劇教室(学校引率) 演劇教室「おもしろ狂言らいぶ」

日時 6月14日(木)

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実および芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

本年度は演劇教室として、女性狂言師和泉順子と十三世三宅藤久郎による子どものための狂言を鑑賞する。

カ 「文高会」総会・会員招待公演 和楽器アンサンブル「真秀」コンサート

日時 6月17日(日)

会場 大ホール

内容 「文高会」総会後の会員招待公演として、現代の日本に伝統音楽の魅力を発信していきたいとの思いから、箏、尺八、三味線を用いて演奏活動を行っている和楽器アンサンブル「真秀(まほら)」を招聘し、会員に和楽器演奏の魅力を堪能してもらう。

キ 「文高会」サマーコンサート「1966カルテット×山田姉妹コンサート(仮)」

日時 8月5日(日)

会場 大ホール

内容 現在テレビで人気急上昇中の二卵性双子ソプラノデュオ「山田姉妹」とビートルズの本場リバプールのファンも魅了する女性4人組ユニット「1966カルテット」のコンサートを開催する。昭和のフォークソングとビートルズ音楽、クラシック音楽を存分に楽しめる企画としている。

ク 第33回市民コンサート

日時 9月16日(日)

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

ケ 第33回うたごえ喫茶

日時 11月25日(日)

会場 大ホールステージ

内容 昭和時代から根強い人気のある「うたごえ喫茶」を開催する。生バンドの伴奏にあわせ、参加者が思う存分、気分良く歌える場を提供する。

コ 「文高会」ウインターコンサート 「あさみちゆきコンサート(仮称)」

時期 12月16日(日)

会場 大ホール

内容 平成29年にデビュー15周年を迎えた、光市出身の歌手「あさみちゆき」のコンサートを開催する。昭和の流行歌の懐かしさを感じさせる歌唱を、存分に楽しめる企画とする。

サ 優秀映画鑑賞会「第4回光市民ホール名画劇場」

時期 2月上旬または中旬(1日3回の上映)

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び独立行政法人東京国立美術館フィルムセンターにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、広く市民を対象にした廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。

シ 第6回アラ還フェスティバルin光

日時 3月3日(日)

会場 小ホール

内容 市内及び周辺地域において、概ね還暦(60歳)前後の年齢層で構成する音楽愛好グループやミュージックバンドに演奏の場を提供する。

音楽・演奏活動を展開するグループ等を支援することにより、市民レベルの文化活動の振興、音楽活動の推進、市民文化の向上などを図る。

2 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて、建築後47年が経過した施設・設備の経年劣化箇所についても、光市教育委員会と順次協議しながら改修・更新を行う。

3 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

- (1) 「文高会」の会員の拡充活動を推進する。
- (2) 財団の情報誌『虹』やホームページ及びフェイスブック等を充実し、各種文化事業の周知を図る。
- (3) 各報道機関への情報提供に努める。

4 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

光ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承とふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集や展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料や醤油の醸造道具、商家の帳場などを通じて、当時の室積の役割など人々の生活や文化を紹介する。

2 ギャラリー展示

タイトル	出品者	会期
はがき絵365日展	めだかの学校 代表 守田房子	4月11日(水) ～4月29日(日)
子どもたちに夢を (人形展)	人形劇団しゃぼん玉 代表 橋本美代子	5月9日(水) ～5月27日(日)
陶も仲間の書三人展	陶 佐々木慶子 書 佐々木松濤・ 加藤佳翠・吉村紫翠	6月10日(日) ～6月24日(日)
海の日に！軍艦模型展	森下貴章他	7月11日(水) ～7月29日(日)
松本英三 新作木版画展	堀永敦臣	8月8日(水) ～8月26日(日)
「写真の流儀」 —私の流儀—	三名木光生他	9月2日(日) ～9月17日(祝・月)
室積秋まつり展	光市室積山車保存会	9月27日(木) ～10月12日(金)
早長八幡宮 秋まつり写真展	利長満夫	10月21日(日) ～11月4日(日)

室積と旅の絵画展	金丸龍一	11月16日(金) ～11月30日(金)
虹雪書心会書展	虹雪書心会 代表 南 秀男	12月9日(日) ～12月23日(日)
母のぬくもり (パッチワーク展)	我楽路 代表 小田敏子	1月12日(土) ～1月27日(日)
破壊と創造 距離と時間 (作品展)	毛利圭子	2月10日(日) ～2月24日(日)
室積を歩く水彩画70展	兼森俊充	3月6日(水) ～3月27日(水)

3 イベント等

- (1) 郷土館端午の節句 4月10日(火)～5月6日(日)
- (2) 普賢まつりの臨時開館と時間延長 5月14日(月) ※19時まで開館延長
臨時開館に伴う振替休館 5月16日(水)
- (3) 五感で感じる郷土の夏 7月20日(金)～8月31日(金)
- (4) サメの歯展示(県漁業光支店所蔵) 7月21日(土)～8月28日(火)
- (5) 秋の夜長と邦楽の夕べ(邦楽虹の会) 9月22日(土)
- (6) 郷土館運営懇話会 10月4日(木)
- (7) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長 10月7日(日) ※19時まで開館延長
- (8) Christmas 音楽会in醬油蔵2018 12月9日(日)
- (9) 郷土館のひなまつり 2月6日(水)～3月15日(金)

4 教育普及活動

- (1) 古文書講座
毎月2回、光市関係の古文書を中心に解説講座を開催
- (2) 小中学校の総合学習や社会見学の対応
学校の教育活動に即応した資料の収集と、見学時の内容充実と説明

(3) 講座と教室の開催

ア 歴史講座

(ア) 郷土史を中心とした教養講座 7月22日(日)

(イ) 古文書の会研究発表 11月11日(日)

イ 手作り教室

(ア) 竹プランター作り 5月27日(日)

(イ) 押し花絵作り 6月17日(日)

(ウ) 親子で作る竹細工 7月28日(土)

(エ) 親子で作る水鉄砲・竹とんぼ 8月10日(金)～8月12日(日)

(オ) 古着で作るハガキ掛 9月9日(日)

(カ) ミニ門松作り 12月23日(日)

(キ) 竹で作る干支の親子 1月12日(土)

5 その他

(1) 休憩室などを利用したミニ展示

(2) 地域観光の拠点施設としてマスコミや地域の関連団体との情報交換

(3) ギャラリー展示利用者の発掘及び生涯学習の推進

(4) 貸し部屋の利用促進